企画展

桃山の能装束

―躍動する美―

水辺に雪持芦遊禽文様繍箔（重要文化財）　桃山時代

能面「艶眉」　江戸時代

平成20年1月6日(日)―2月11日(月)

- 開館時間＝9時－17時（入館受付は16時30分まで）
  月曜日休館（月曜祝日の場合は翌日）
- 入館料＝一般300円　高校生200円　小・中学生無料　友の会会員無料
  団体（20名様以上）、シルバーカード・障害者手帳提示の方等　2割引
- ギャラリートーク＝毎週土曜日　14時から（1月19日〔土〕は15時30分から）

【特別講演会】

講師●切畑健氏（京都国立博物館名誉館員）
演題●「桃山の能装束のこと　―文様と技術と―」
日時●平成20年1月19日（土）　13時30分～15時00分
場所●岡山県立図書館　2階　デジタル情報シアター
定員●100名　友の会会員1、000円　一般1、200円

扇子に藤文様鼻帯　江戸時代

花唐草文様鼻帯　江戸時代

林原美術館

岡山市丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733
http://www.hayashibara-museumofart.jp

桃山の能装束

—躍動する美—

段片身替り枝垂桜文様摺箔（重要文化財）　桃山時代

室町時代に観阿弥・世阿弥親子によって大成された能は、時代を経てなお人々を魅了し続ける芸能です。舞台で着用される衣装は特別に「能装束」と呼ばれます。林原美術館は重要文化財を含めた桃山時代の能装束を所蔵しています。桃山時代の能装束はゆったりとした渡し縫（わたしぬい）の刺繍技法や摺箔（すりはく）などを施工して、明るくおおらかな作風で、自由闊達な当時の気風をあらわしています。江戸時代になると能は武家の式楽となり、それとともに能装束は形式を整えて、豪華絢爛な染織品の代表となります。

本展覧会では、備前池田家に伝来した重要文化財5点をはじめとする桃山時代の能装束と、江戸時代の能装束を一堂に展示し、各時代の能装束の魅力をご紹介します。さらに染織技法にも注目します。

段片身替り格子菊桐文様唐織（重要文化財）　桃山時代

破れ垣に枝垂桜文様繍箔　桃山時代

山桜と円文蔓草文様繍箔（重要文化財）　桃山時代

草花丸文散し文様肩裾繍箔（重要文化財）　桃山時代

林原美術館

HAYASHIBARA　MUSEUM OF ART

〒700-0823　岡山市丸の内2-7-15　TEL (086)223-1733　FAX (086)226-3089

http://www.hayashibara-museumofart.jp

＊車椅子対応の設備あります。

交通／JR岡山駅から徒歩25分／路面電車［東山行］県庁前下車徒歩7分
岡電バス［岡電高屋行］県庁前下車徒歩3分
宇野バス［瀬戸駅前行・四御神行］県庁前下車徒歩3分

次回予告　**特別展　「華やかな日本刀—備前一文字」**
平成20年2月23日（土）～3月30日（日）

後鳥羽院御番鍛冶12名中6名を占めるなど、朝廷の庇護を受け華開いた絢爛豪華な一文字派の、鎌倉初期から末期までの代表作を系統的に紹介します。